

Armonia Plus バージョン 2.1.0 リリースノート

March, 2021 年リリース

株式会社オーディオブレインズ
2021 年 4 月吉日

新機能

- * 固定設備向け(インストールモード)のプロジェクトを追加しました。
- * ソース、ゾーン、コントロール、ルーティング、シーンの機能が追加されました。※インストールモードのみ
- * ソースとゾーンの各種機能は、イコライゼーションを設定することができます。
- * シーン機能は素早く、簡単にシステムのプリセットリコールを実現しました。
- * ワークスペースがマルチ化され、複数のワークスペースを追加できるようになりました。
- * SYNCHRONIZATION 機能:設計者がアンプにコマンドを送信せずに作業できる、新しい同期モードを追加しました。
- * 物理コントローラーのサポートを追加:特定のアンプからゲイン、ソース、シーンのリコールを素早く制御できる機能を追加しました。
- * View Designer 機能の追加:Web ビューまたはモバイルビューからアクセスできる操作画面の構築が可能になりました。
- * 新しい Sys コントロールアプリを制御できるアプリビューを追加しました。
- * 一部のグラフィックデザインが変更されました。
- * WM Touch のサポートを追加:タッチスクリーンのシステムコントロール機能を構成できるようになりました。Views Host としても選択することができます。
- * システムを常時運用するためのサーバー用パソコンが PC Views Host としてワークスペースへ追加できるようになりました。
- * プロジェクトプロパティの新しい専用タブから Views Host を管理できるようになりました。Views Host のリストから、優先デバイスを選択したり、デバイスを除外したりすることができるようになりました。
- * 複数のワークスペースを操作する場合、ワークスペースをフォルダ間でドラッグアンドドロップすることができるようになりました。
- * インストールモードのみで表示されていた「グローバルバー」が、ライブモードにも追加されました。
- * 「グローバルバー」に新しいボタンが追加され、ゾーンとグループをアルファベット順に並べ替えることができるようになりました。
- * スピーカー、グループ、ゾーンのゲインを調整するためのキーボードショートカットが追加されました。オブジェクトアイコンにマウスを合わせ、「Ctrl + Windows + マウスホイール」を使用して実行できます。
- * スピーカー、グループ、およびゾーンのミュート/ミュート解除を切り替えるためのキーボードショートカットが追加されました。オブジェクトアイコンにマウスを合わせ、「Ctrl + Windows + クリック」を使用して実行できます。
- * Views Designer の Web VIEW が 1 つのページに複数のタブを追加できるようになりました。
- * ソフトウェアのメインメニューからライブプロジェクトをインストールプロジェクトに変換できるようになりました。
- * CONTROLS&VIEWS を Run にした時、システムの動作状態をポップアップで表示するようになりました。設定が不十分な場合、どこの設定項目が不十分が表示されます。

バグの修正

- * マイナーなバグ修正と安定性の改善

リリースにバンドルされているファームウェア

- * Mezzo シリーズ:1.3.2(new)
- * T シリーズ:1.10.0(new)
- * X シリーズ:1.10.0(new)
- * X4 L:1.10.0(new)
- * Ottocanali, Quattrocanali, Duecanali DSP + D:1.10.0(new)
- * Quattrocanali:2.0.2.48
- * Dsp4:1.6.27.0
- * IPAL, MDrive: 1.8.4
- * WM Touch: 1.1.0 (New)
- * PC Views Host: 1.4.9 (New)

新機能の紹介

固定設備向けプロジェクト(インストールモード)

Armonia Plus2.0 から[FOR LIVE SOUND / FOR INSTRALL SYSTEMS]の 2 種類の機能が追加されました。

[FOR INSTRALL SYSTEMS]を選択するとインストールモードが開始します。

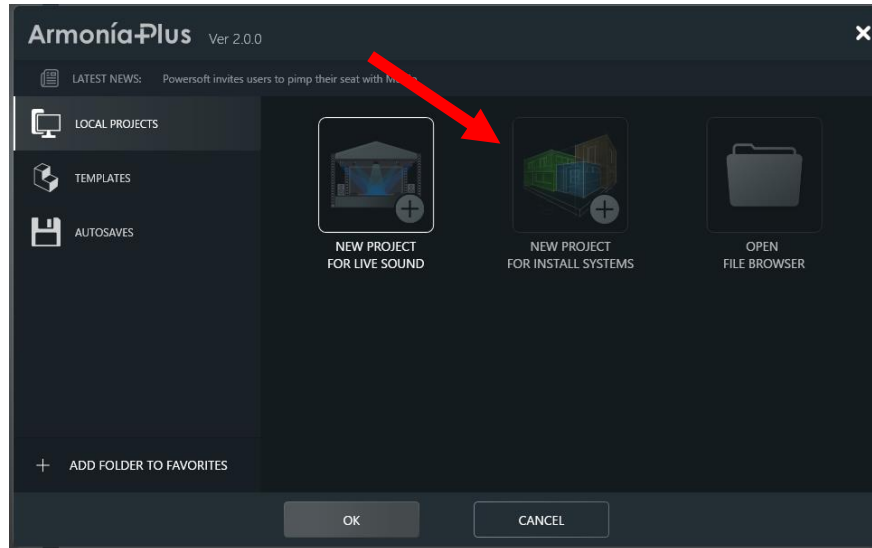


図 1 - プロジェクトの選択

また、ArmoniaPlus2.0 から、起動画面に任意のフォルダを追加することが可能になりました。

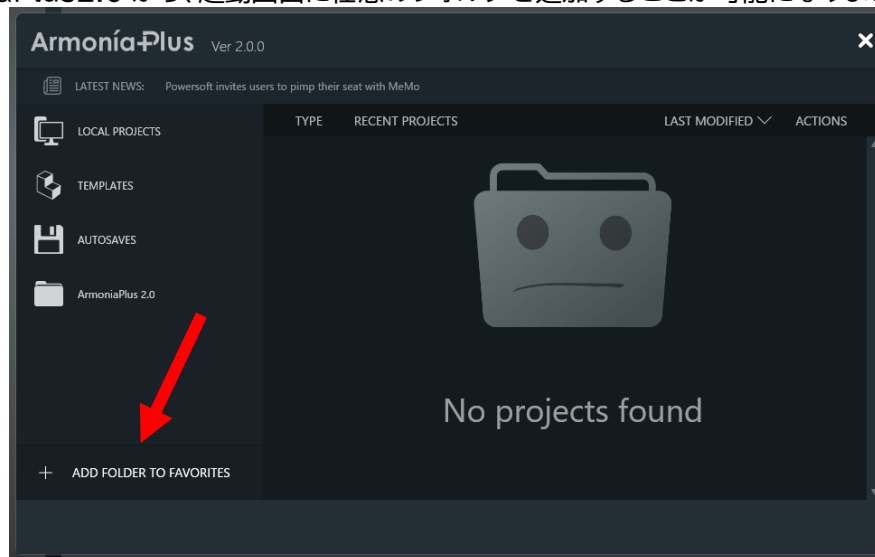


図 2 - 任意フォルダの追加

ソース、ゾーン、コントロール、ルーティング、シーンの機能

Source(ソース):機器の追加に Source が追加されました。
 インプットを任意に設定し、インプットソースを構成していきます。



図 3 - Source

Zone(ゾーン):Zone のファンクションが追加されました。
 スピーカーとソースをアサインし、ゾーン制御が可能です。

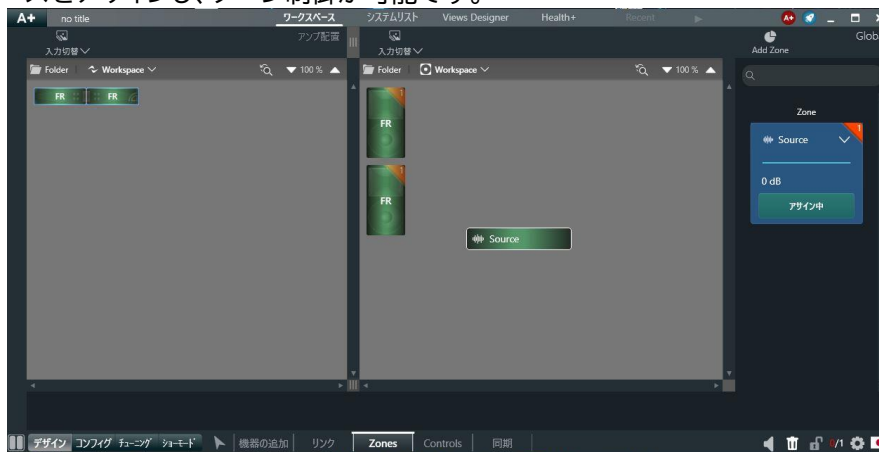


図 4 - Zone

Control(コントロール):Control のファンクションが追加されました。
 特定アンプへの GPI 制御をシステム全体のコントロールへ設定することができます。
 Level、SourceSelector、SceneSelector から選択できます。

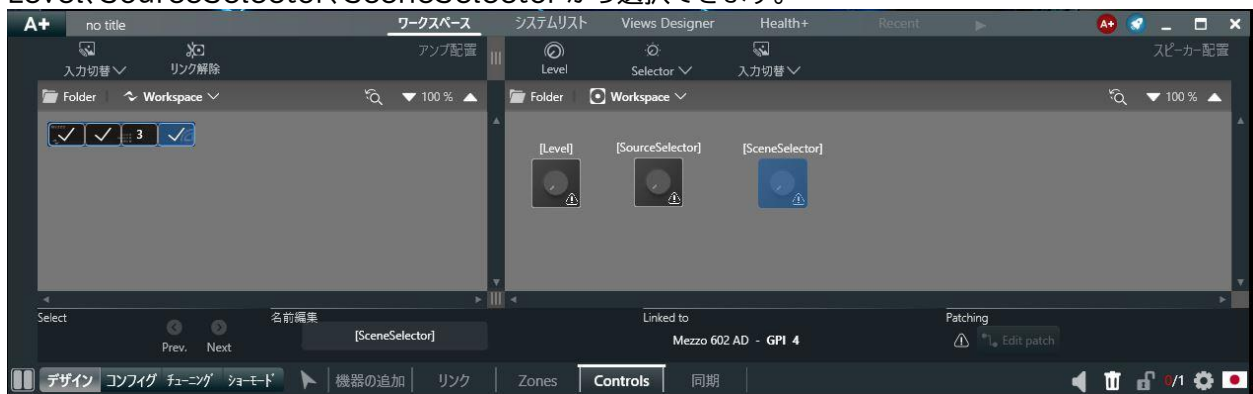


図 5 - Control

Routing(ルーティング):Routing のファンクションが追加されました。
 スピーカーのインプットを簡単に設定できるようになり、Mono、Stereo(L,R,Sum L+R)、Multi Ch.から選択できます。



図 6 - Routing

Scene(シーン):任意の場面を複数準備することができ、素早く切替することができます。

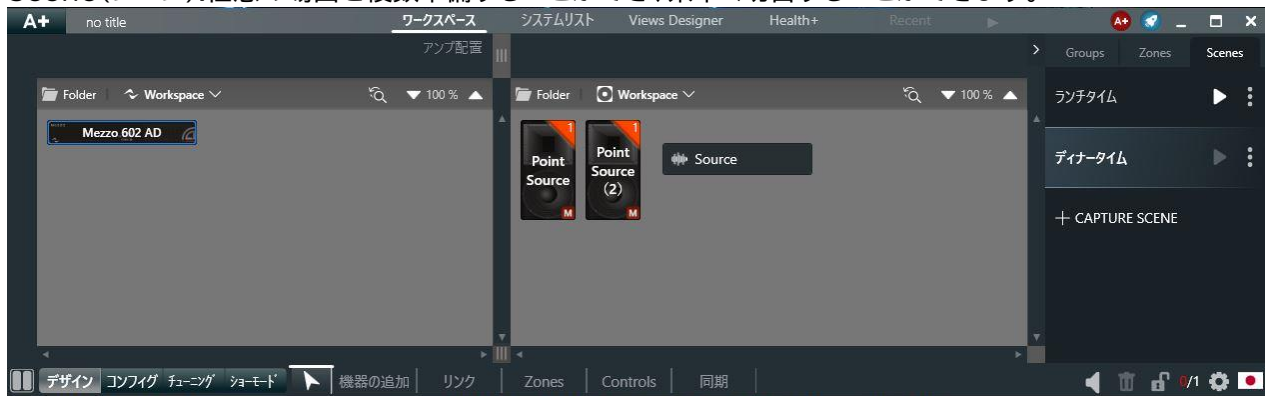


図 7 - Scene

マルチワークスペース

アンプエリアとスピーカーエリアの Workspace ウィンドウを追加することが可能になりました。これにより、エリアを分けての管理がスムーズに行うことが可能です。また、同様にフォルダを追加することが可能になりました。

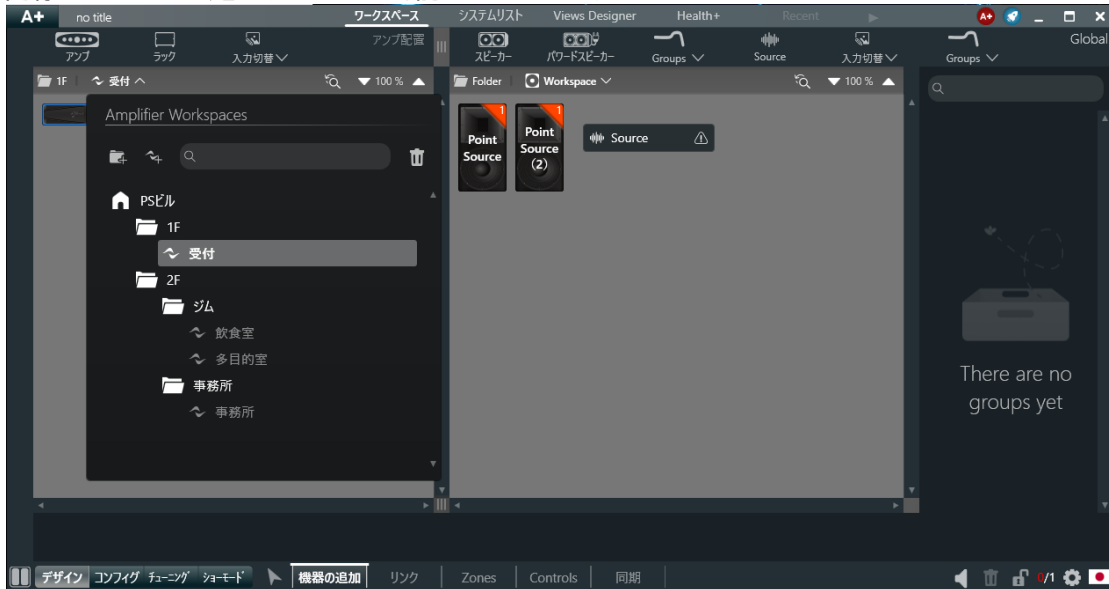


図 8 - マルチワークスペースの例

SYNCHRONIZATION

シンクロナイゼーション機能が追加されました。これによりアンプとの同期タイミングをコントロールすることができるようになりました。

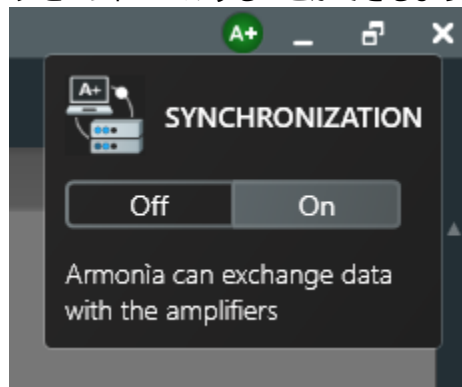


図 9 - SYNCHRONIZATION

View Designer

ウェブブラウザや Sys コントロールアプリでの操作画面を構成することができます。

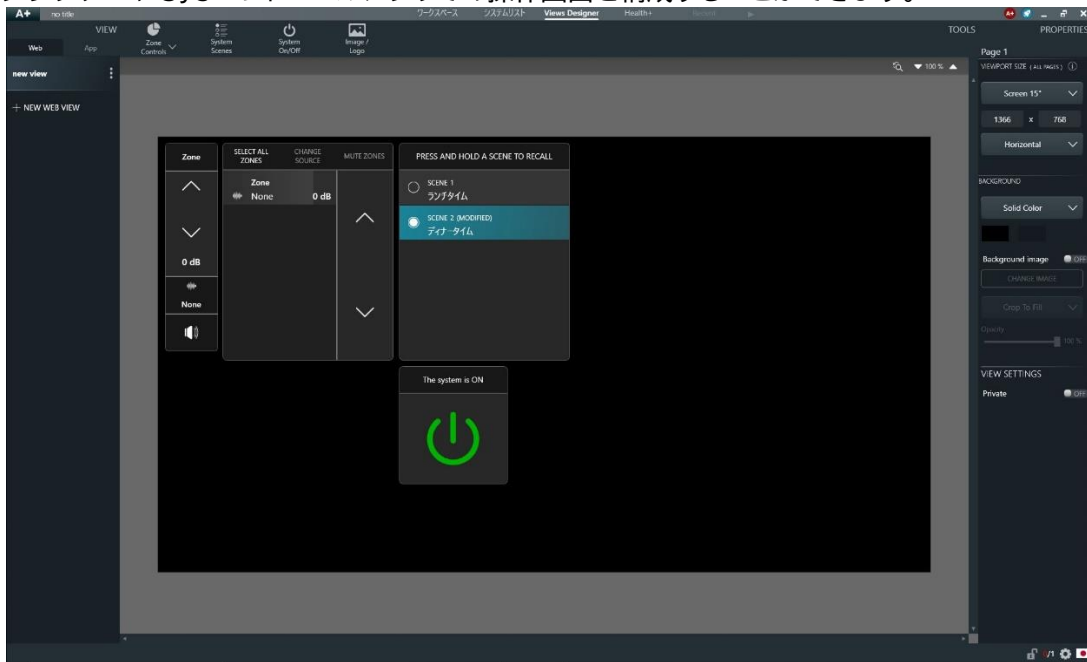


図 10 - View Designer ウェブブラウザ

Sys コントローラーアプリでは操作画面の情報を QR コードで書き出し、QR コードにアクセスするだけで操作画面を呼び出すことができます。



図 11 - View Designer Sys アプリ